

青年会議所との出会い

大東市長(大阪府) 岡本日出士

Hideshi Okamoto

はじめに

「光は東方より」の言葉を思い55年前、大阪河内平野の東端、生駒山脈の麓に2町1村が合併して誕生したこのまちは、大阪を光り輝かせる先進地として位置付け「大東市」と名付けられたようです。

ちなみに大東は、「東の果て」「極東」ひいては「日本国」と辞典に出ています。そのような先人の思いのつまった本市は、ご存じ東海林太郎さんの「野崎小唄」に歌われた「野崎観音」がある緑豊かで人情に溢れた人口約13万人のまちであります。その大東市の前身であります北河内郡南郷村で生まれ育った私を少しだけ紹介させていただきます。

J・C・RCでの活動

私は10数年勤めた建設会社を退社し、昭和44年4月に大東市で建設業を始めました。そして2年余りが経過したころ、本市に青年会議所(J・C)を設立しようとする動きが盛り上がり、私も同窓生に誘われ参加しました。

以来、J・Cの目指す「明るい豊かなまちづくり」運動に70数名の経営者や経営者の子弟と共に毎夜のように会議を開き、そして時には酒や麻雀も加えながらJ・C活動に懸命に取り組みました。特に前年の日本青年会議所会頭の牛尾治朗氏が掲げ

た新しい時代のスローガンは、私たちの熱意を一層盛り上げてくれました。

また、全国大会などには必ず参加し、多くの人々と出会うことができました。今では故人となられた同年配の小淵恵三元総理大臣とは山梨県で車座になり酒を飲む機会があり、福田、中曾根両元総理と同じ選挙区で偉大な両先生にはさまざま苦闘している話などをお聞きし、世の中にはさまざまな分野での仕事や生き方があることを直接感じることができ一層視野が広がったように思いました。

私自身、「価値あるJ・C」をスローガンに3代目の理事長の年に、国交回復された中国へ「日

中友好の船」で当時の大阪府副知事の岸昌氏を団長とした一行に大東J・Cを代表して2週間訪問したことも深く記憶に残っています。このようなJ・Cでの活動を通じて、私は本気でまちづくりに取り組む決意ができたのかも知れません。

そして、1976年にJ・Cを卒業した後は、「大東ロータリークラブ(RC)」の会員として本市の繁栄のために取り組み、現在も市長とは別の立場から地域社会が欲しているものを探しだし、そのニーズ



大東RC 40周年記念式典にて

に応えるためのさまざまな活動を展開しています。

このRCやJ・Cでの長年にわたる活動が平成12年の市長選挙に出馬する契機となったことは申すまでもなく、私の人生にとって最大であるとともに最高の出会いだったかも知れません。

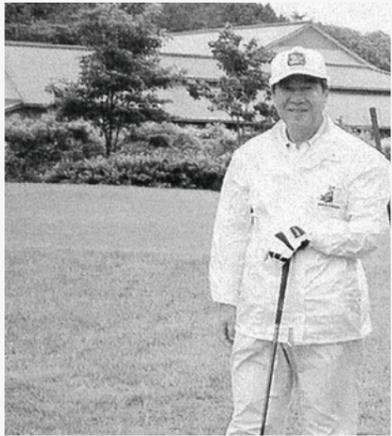
オフは自然と仲間と共に

私の一番の楽しみは、なんとと言ってもゴルフです。市長に就任してからはめ

きり回数が減ってしまいましたが、全く予定のない日は出来るだけゴルフ場に出掛けるようにしています。

ゴルフは本当に楽しいし飽きないので。晴天の時に広大な芝生の中で白球を打つ気持ち良さ、ラウンドしながら仲間と弾むなんでもない会話、そしてプレー後のお風呂の心地よさなど、どれをとっても私をリフレッシュしてくれ、明日からの活力が生まれます。成績がはっきり数字に表れるし、数あるスポーツの中で唯一審判員の無いスポーツであり、自身の規律によってマナー・ルールを守りながらプレーし、メンタル面も鍛えながら感動と興奮を得ることが出来る奥の深いスポーツがゴルフであると思います。

また、最近は乗用カートが多くなったとはいえ、ラウンドするとかかなりの距離を歩くため足腰が強化され、健康の増進や運動不足の解消、そしてストレスの解



筆者のオフの楽しみであるゴルフ

消にもなり、心身共にリフレッシュ感が得られ、健康面から見てもかなり役立っています。これからも、健康に留意しながら大好きなゴルフを仲間達と共に出来るだけ長く続けていけたらと思います。

考える時間と読書

私は、時間があれば本を読むことにしています。最近では「高熱隧道」(吉村昭著)や「許されざる者」(辻原登著)などを楽しく読ませていただきました。

「高熱隧道」では、戦前のエネルギー需要の必要性から国策として黒部溪谷に隧道を掘りダムを造る工事で、岩盤が予想の摂氏60℃をはるかに超える160℃まで達する炎熱地獄と過酷な自然の中で目的達成のために命を賭ける人々の物語であり、建設業に携わる者として感動しました。

また、作家としては司馬遼太郎さんが好きで、作品の大半は読ませていただきました。年末のテレビで放映されました「坂の上の雲」や今年の大河ドラマの「龍馬伝」が今後どう展開されるのか楽しみであります。

結びに

今まで私は、聖徳太子の憲法17条の中にあります「和を以て貴しと為す」「礼を以て本とせよ」を基本に、会議や仕事、飲食

中、家族と過ごす時、いつも明るく仲良くを心掛け、問題や困難が生じても積極的に楽しく解決することを常に心掛けてやってきました。そして今後も、お互いが認め合い、支え合いながらの人生を送りたいと思っています。私は、大東市についても「広い思いやりの心」と「公のために尽くす清廉な価値観」をもって、希望が照らす未来へと市民の皆様と共に力強く歩んでいきたいと思っています。



盛大な大東市のだんじりまつり